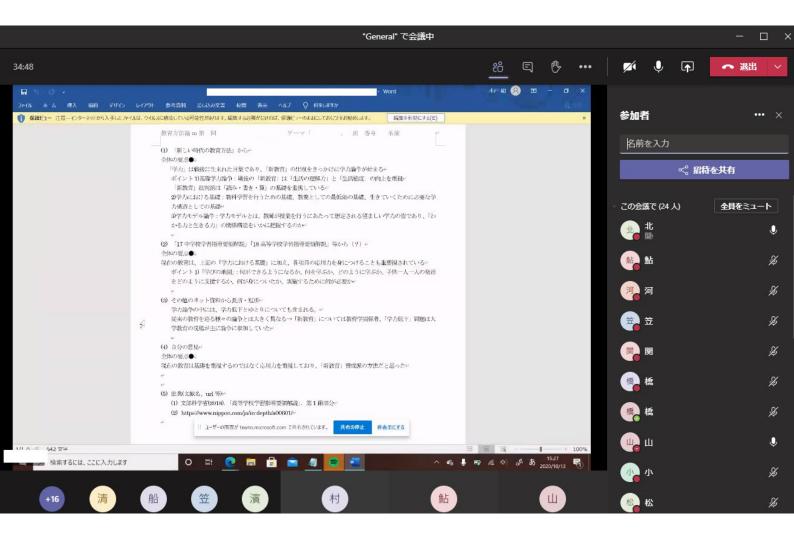
20m030発表記録

準備



学力の登場と学力論争



最前方法論

苦りの登場と生力論争

WY Trant

みんなかるれまりい政治などのことを考えていまかった。 とは単元学問

計算力を小学生からアル上けていて、ではせて

1次関数をためたて31、2次関数を営んでいた

うめこみ、ではなく、多かってに対して脚味をもかせる

っま洗性」を前提に、「霹究的な活動」を行う

向鹽所次

争点如識観と問題所法の質

方法論を対象化、児童生食の生活体験でい、変収を引き生す

全社 5%人物行

教師、教材中心、知識を教授する

型心心

受験体制,競争,の比判からたのしいことが重要視し (数学を結り強く考える、積極的に活用する 社会に出てもなびかル要ない。ためにない。

ICT活用。

見えない配線を、プロジェワタを使用して見せる。 回路回の試し書きを行うことかできる。

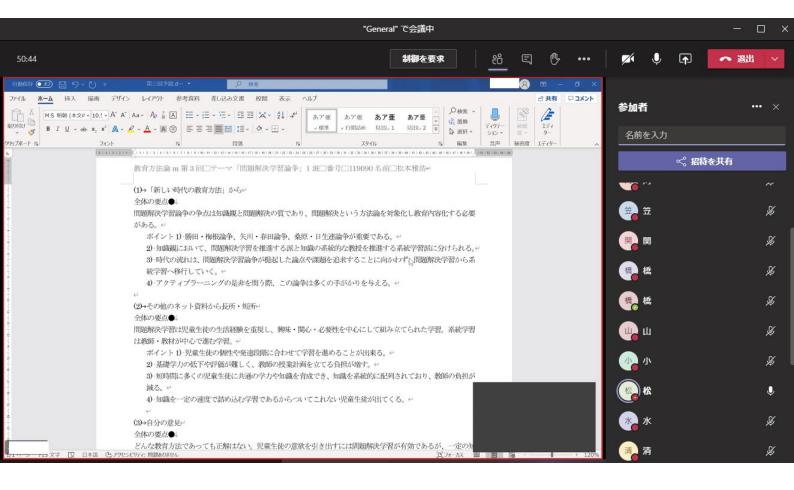
医磨等

患者や症例を共有...の現状を調べ、まとめる. しプログラミングでつくればいいのに

感想

・営力について、家で復習」を前提にするのではなく、営校で予習も復習も行えたる全ての 児童生徒がある程度の営力をつけることができると思っし、児童生徒の立場から見ても 営校は難験をする場所だとすることができ、Xリハリもつくのではと思う

問題解決学習論争



各班ワークシート複数資料用(まとめ)

- 1) (班内) まとめ 班のテーマ(問題研決学習講科)
- ■テキスト (新しい時代の教育方法) まとめ(
- ·問題解探学習論學 內爭点 內海議親 .2問題師決の質である。問題解決という 方法論、対象化し教制器化好类如初。

PBL = 問題解決智⇒問題を解決するためた 外勒和識色学智育3:2.

■肯定的 web() まとめ(

N 問題 阿決学習N

- 見重の個性や発達段階 トをかせて、学習を 近のることが出来る。
- ~系统, 学智~

短時間に多くの児童生徒に共通の勃地識 て教えなとか出来る、行、知識心系統的に、 配列引动物,教師的自相的成る。

- 2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取 り組みについて感じたことをのべよ。
- じのおな学習が法を採用したといる。 児童・日徒 自身の 主体性人 なければ 字力の低下ないの構なな課題の解状心 難いしないまれた、お寒い機は Tizzer 意啟·高的了政心缺知思识。
 - 4 ■ 5 段階班の自己評価()

■否定的 web() まとめ(

- ・~問題解਼探習~
- 基礎学加值下,舒白心難以,授新面对23
- · 負担が遊し

ル系統学習ん

知識了党の建度でつめ、なため、ついてこんない児童生徒 かいころろ

■班としての要約

まとめ(

· 児童·生徒小克欣·日引生配列 1/15, 問題解決 · 学習、一定的知識で概念には、系統学習EBB これが有効でなる。 きたい まちを ないれ ろりたナテニケ たついて考えないとか必要でする。ろりティブラーニングは

正所でなるたち(家庭学習)⇒生徒日コ(お師(いい2) 議論を行う いうものでなる、原体験(学校で体験好社 かれでは」ラ学習旅を説の職集をしかく。

キーワード 10~20 語. 耐熱解料 . 系統智.

概念系統図 門外科問門。 .和識觀

·施楠根論中·刺·翻論争 ・3元ガッング・主体性

·新油油 PBL

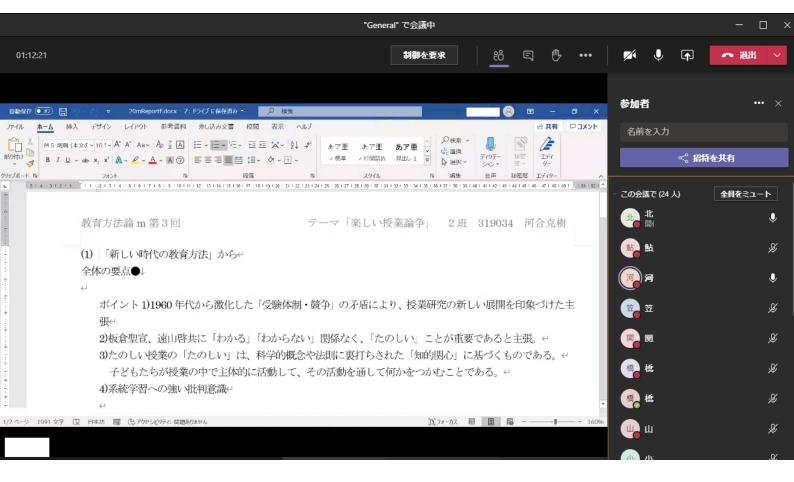
,拔陇 ·原併縣

·屬新轉聲·

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことを のべよ。

これがの学習方法 をとうなかについて考える 深いいかとなったから、ベストは 条統字智,如東マ、3月記でラニックを用いること お話はいなれるなと感いた。

楽しい授業論争





各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ 班のテーマ (発し、投資を利)

■テキスト(新しい時代の教育方法) まとめ(わかまれた」では何く来してどん・・・・・

- ・「楽し、代業」とは「よかる授業」を目的とするので、
- · はなく、アーハとなりははなっていっていてい
- · ヒハイ・日子ファイジ」。
- · 子ともたちか三人科的に五尺を一個的な世域目

■肯定的 web (note.com/nicksaneglist/n/n3b69607b)まとめ (対象形成で楽した)#JGW

·采(1)校常至十分的以后、双百种一年

· どうするつきである。

・その上1:真面目なけるさるときに空気を交える

・こともできる.

きた、テンナ、の良い投業もとしる。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■(っかりとたのし、授業とおかる機業 注動解して、あかることも理解しなから 楽し、授業もしなければないない、 ■否定的web(notc.com/rym_とか/nSa64foclebsd まとめ(「頭・投資」が一種なる第一目的ではない。 ・いくら乗しくても、方がつかがいとればりは現的 ・1とは成化を含まれ、本の単、的はた1=76か3、

■班としての要約

まとめし、ためしい投票は出産を対すといい子習させ

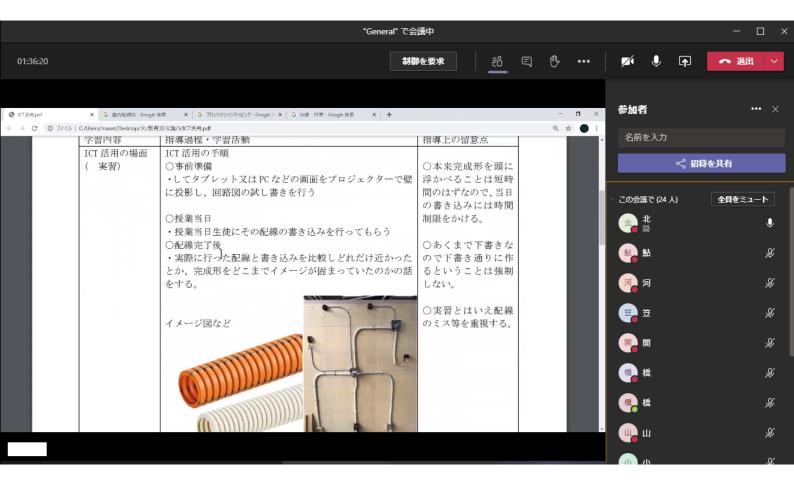
·興味色色上世、授賞1:即中之色1:43.

キーワード 10~20語 明日中に 概念系統図・たのに・授算・授業 ・教育と年程・教育と年程・・地でとかない。 かいかな ・ ヤンム的・・ から授業・・ 科学的・・ から大業・・ 教育と生行・・

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 葉い授業をおおがは、どう乗して するか、生活が関する持、でもう ためには、どうしたらいいから、使住徒 の残ごりるかきである

ICT活用例



各班ワークシート (模擬授業まとめ)

改善したこと、すべきことを書くこと (指導案の 要約ではない)

- 1) (班内) まとめ 班のテーマ(【C7:4月
- ■学年・単元・本時の内容(提示する教材)

一品ないろ

実習(西海)

屋内西已级全部1-7117

■目標、内容・指導の概略等

木生建築タンファクリートのPF智のの IVAL VFFEED BULL. または八文いので」の問題の取付

下むって事うとは較か、中国意力

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取 り組みについて感じたことをのべよ。



- 2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべ
- よ。 ICTを使う事に重点を選いてはいけない

■教材・板書計画、評価の観点・規準等 海低 1=7117. まずは普通の実習の意料価を行う、 まはでICTは補助的な立ち付かとして。 重要积明节11。

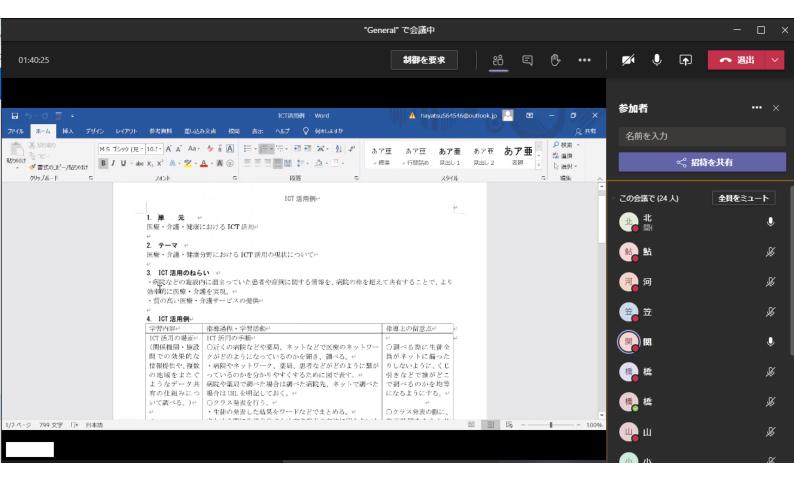
- ■工夫した点、出典等 重不見好有見生を元の授業から、大きくななない。 本はでいき用し
- ■模擬授業を実践してみて感じたこと、わかったこと



- 2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことを のべよ。
- 自分はJCTにつけては十受業者助 に使い思っていたから

Agend If Mazararreca

ICT活用例



各班ワークシート (模擬授業まとめ)

改善したこと、すべきことを書くこと (指導案の 要約ではない)

- 1) (班内) まとめ 班のテーマ (ICT 活用行))
- ■学年・単元・本時の内容(提示する教材) 全学年
- · 医療系の教科 ·ハウーホイントを使った授業

■目標、内容・指導の概略等

区療関係のネットワークガーとでのように連系しているのがを言思べ、生徒同まで、発表する

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

- 2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。
- 7"ローバル化していく社会で、 ICTを活用することで、 7"ローバルで対会を生きていく

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

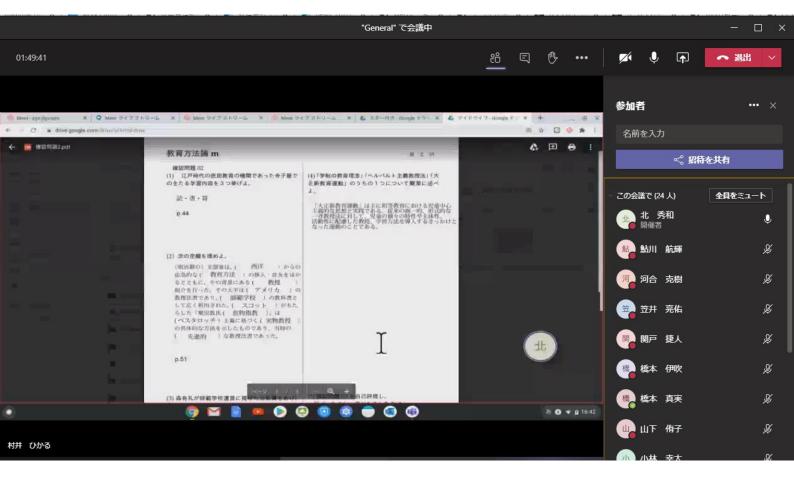
ICTを使用することによって 生徒自身に身についているかや、 といのようにネットワークがつながらて いるかと言用へられているかと 言平価する。

- ■工夫した点、出典等 インターネットを活用しまざず、 手見すむの人に関いてみたりする
 - ■模擬授業を実践してみて感じたこと、わかったこ

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

ICTを活用することによって生徒の意公とかできるのではないない感じた。

確認問題01



各班ワークシート (確認問題まとめ)

1) (班内) まとめ 各問のポイント

■問1

沙产时心

記むこと

■問2

大部省は西洋からの広急的引教育方法の 移入普及・モッカかる。また、教授理論の紹介を 行う。入半月アXリタの教授法書であり、 師範学校的教科者 6(元在《利用。

スコットがもたらして「塞見飲氏底物指教」は ペスタロッチ美に基づく実物教授の具体的な 方はもれてたもの。

先進的日教授法書

2) 問題全体を通して見て、全体のポイントと 思ったことをのべよ。

(全体のポイント)

→人正時心から教育方法が変化。 自由主義人と変的る。

2*) 問題全体を通して見て、気づいたことをのべ よ。

説者、算は分さら水やとて外でいる。

森自礼… 師範学校歷智八"順民」「信奏」「咸重」 色榜作人。

教師八天皇制国家主義を大んの庄民の 育成に全力を尽くすよう配身的次裁を 我的人。

■問4

有版

学利の教育理念,ハルバルト主教教授,

入止新教育運動

→ 馬一主義,注入主義,時記主義 巨批判。 子どもの個観性や自然性の尊重。 自由主義的教育をためる星動。

2**) 確認問題に取り組んでみて、確認問題に取り 組む時間や、問題内容と発表班との関係などにつ いて、気づいたこと、感じたことをのべよ。

確認問題、取り込むことで、 全でカテースに触れることができた。 後間がしアすか、た。